T670 Omni アクセス ポイント クイック セットアップ ガイド

この『クイック セットアップ ガイド』では、USB 対応 RUCKUS T670 Omni アクセス ポイント (AP) を現場で取り付ける際の手順を、各ステップ別に説明しております。取り付けの計画、現場の調査、USB 対応 T670 Omni の操作に関する詳細については、https://support.ruckuswireless.com に用意されている『*RUCKUS アクセス ポイント スタート ガイド*』を参照してください。

注意: USB 対応 T670 Omni AP をサポートするソフトウェア バージョンは、新しい AP モデル パッチの SmartZone (SZ) 7.1 以降、ネイティブ サポートの SmartZone (SZ) 7.1.1 以降、Unleashed (UN) 200.18 以降、RUCKUS One (R1) 7.1.0.512 以降です。

警告! この機器の取り付けは、地域および国の電気規定に従って行う必要があります。

DANGER-QSG: *この機器は、トレーニングを受け、資格を有する者だけが取り付け、交換、整備を許可されています。この機器は、立ち入りが制限された エリアでのみ取り付けを行ってください。*

警告! RUCKUS では、USB 対応 T670 Omni を設置する前に保護メガネを着用することを強く推奨しております。

注意! AP または建物に接続される全ケーブルで、80 ~ 130 mm (3 ~ 5 インチ) 程度のドリップ ループを施して下さい。これは、水がケーブルを伝わってケーブルの接触部から AP や建物に入らないようにするためです。

注意! 接地を施し、各地域および国の電気安全基準を満たすようにして下さい。雷からの保護を強化するために、避雷針および避雷器を使用してください。

注意! 各地域の電気安全基準に従って、雷サージに対する適切な保護措置を講じでください。

本ガイドの他言語版

- 请从以下网站获得该指南的简体中文版 http://docs.commscope.com/?docs-box。
- Vous trouverez la version française de ce guide à l'adresse suivante http://docs.commscope.com/?docs-box.
- このガイドの日本語版は http://docs.commscope.com/?docs-box でご覧ください。
- 이 가이드의 한국어 버전은 웹 사이트 (http://docs.commscope.com/?docs-box) 에서 확인하시기 바랍니다.
- Veja a versão em português (Brasil) deste guia em http://docs.commscope.com/?docs-box
- Puede ver la versión en español (América Latina) de esta guía en http://docs.commscope.com/?docs-box

はじめる前に

RUCKUS の製品を導入する前に、最新版のソフトウェアとリリース文書がそろっていることをご確認ください。

- リリースノートおよびその他の文書は、以下に掲載してあります。http://support.ruckuswireless.com/documents
- ソフトウェア アップグレードは、以下にて可能です。http://support.ruckuswireless.com/software
- ソフトウェア ライセンスおよび制限保証の情報については、以下をご確認ください。https://support.ruckuswireless.com/programs-warranty_registration

RUCKUS アクセス ポイントとスタジアム用マウント エンクロージャーの導入を開始する前に、**「パッケージの中身」**に記載されているアイテムがすべてパッケージに含まれていることを確認してください。破損している、または含まれていない部品がある場合は、RUCKUS の営業担当者までお知らせください。また、必要な金具と工具をご用意ください。

必要な金具と工具

- 13 mm (1/2 インチ) マイナス ドライバーまたは同等のもの
- 大マイナス ドライバー
- 2 番プラス ドライバー
- ソケット付きトルク レンチまたはトルク ドライバー
- ロングノーズ プライヤー
- 電線ストリッピングおよび端子クリンピング プライヤー
- パイプ、ポール、または安定した取り付け平面
- ドリル ビット付き電気ドリル、およびお客様にご用意いただく壁用アンカー、平ワッシャー、六角ナット (平面マウントの場合)

パッケージの中身

T670 現場取り付け用パッケージには、以下の一覧に記載されているすべてのアイテムが含まれています:

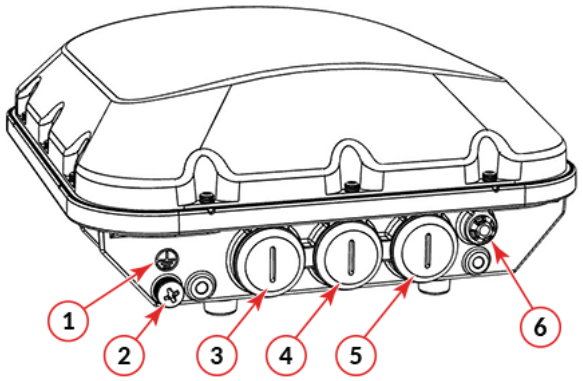
- USB 対応 T670 Omni アクセス ポイント
- M25 データ ケーブル グランド
- 屋外用 AP マウント ブラケット キット
- ラグ付きアース線 1 本
- クラウド管理記述
- 幅 12.7 mm、直径 63.5 mm の調整可能なクランプ 4 個で、ブラケットをポールに固定します。
- 安全ケーブル キット
- 適合宣言書

取り付け方法

RJ-45 ケーブルの接続とシーリング

T670 では 0、1、または 2 本の RJ-45 ケーブルを使用できます。ルート AP (RAP) として構成した場合はイーサネット用に 1 本、T670 からスモール セルまたはマイクロ セル無線などの周辺機器に接続する場合にもう 1 本使用します。T670 で RJ-45 ケーブルを使用する場合は、図 4 に示すとおり、M25 データ ケーブル グランドを使用してケーブルを接続し、シールします。

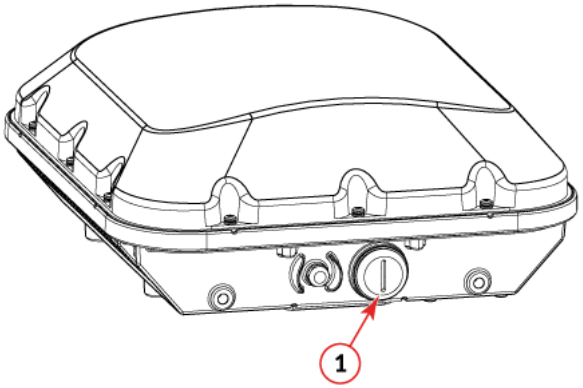
図 1 T670 AP の底面図



1. 接地記号
2. 接地ネジ
3. PoE 入力
4. イーサネット
5. DC
6. LED インジケータ

警告! RUCKUS がテストしていない、もしくは承認していない PoE インジェクターを T670 アクセス ポイントの電源として使用しないでください。

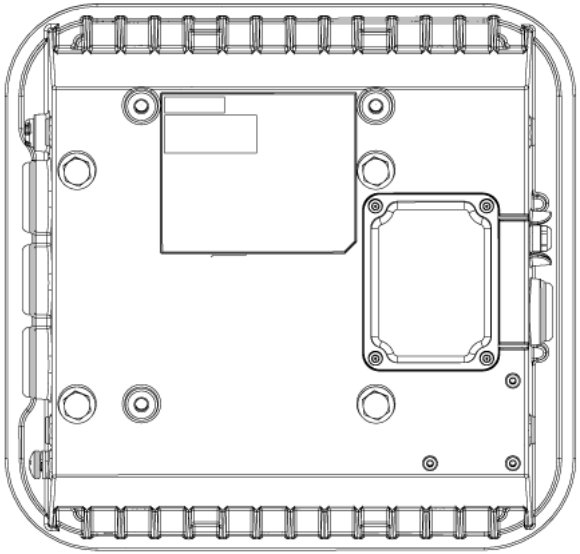
図 2 T670 AP の上面図



1. USB ポート

© 2025 CommScope, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
出版 June 2025、部品番号 800-73781-009 Rev A

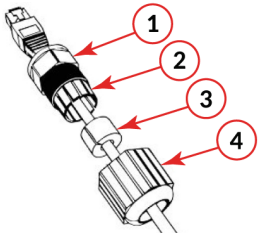
図 3 T670 AP の背面図



1. 図 4 に示すように、ケーブルの末端をグランド ドーム、ゴム グロメット、クランピング リング アセンブリ、ケーブル グランド ベースに通します。

> **注意:** グランド ベースを仕様どおりのトルクで固定してから、クランピング リングとゴム グロメットをグランド ベースに挿入してください。

図 4 RJ-45 ケーブルおよびケーブル グランド アセンブリ



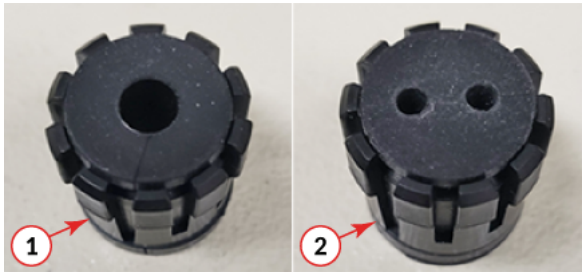
1. ケーブル グランド ベース
2. クランピング リング
3. ゴム グロメット
4. グランド ドーム

2. 図 1 に示すように、幅広マイナス ドライバーを使用して、PoE 入力または 2 番目のイーサネットのブランキング キャップを T670 から外します。
3. ケーブルを AP のイーサネット ポートに接続します。
4. ケーブル グランド ベースを 7 N.m (62 インチ - ポンド) のトルクで締めます。
5. クランピング リング アセンブリをゴム グロメットにかぶせます。クランピング リング アセンブリがゴム グロメットを完全にカバーするようにしてください。
6. クランピング リング アセンブリとゴム グロメットをケーブル グランド ベースに挿入します。
7. グランド ドームを手で締めます。

DC 取り付け用ケーブル アセンブリ

DC を取り付けるには、PoE またはイーサネットの取り付けに使用されるシングル ホール グロメット インサートを、ケーブル グランドのジップコード (デュアル ホール) グロメット インサートに交換します。

図 5 シングル ホール グロメット インサートとジップコード (デュアル ホール) グロメット インサート



1. シングル ホール グロメット インサート
2. ジップコード (デュアル ホール) グロメット インサート

> ***DANGER-QSG:*** *DC 電源ケーブル アセンブリを取り付ける際は、DC 電源コードが DC 電源に接続されていないことを確認してください。*

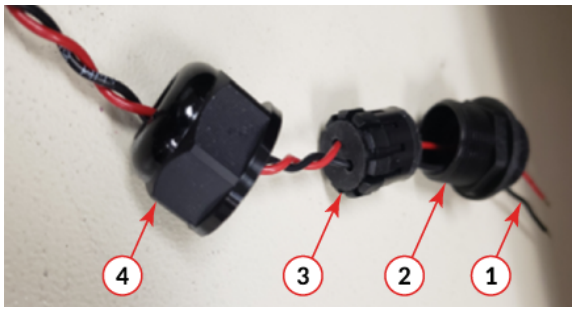
DC 用ケーブル グランドを取り付けます。

1. 幅広マイナス ドライバーを使用して、DC のキャップを外します。
2. ワイヤー ストリッパーを使用して、DC 電源ワイヤーを切断し、被覆を剥きます。

> **注意:** DC 電源ワイヤーのピグテールワイヤーが 8mm (±1mm) 露出していることを確認してください。

3. 図 6 に示すように、DC ワイヤーをグランド ドーム、ゴム グロメット、ケーブル ボディに通します。

図 6 DC 電源ケーブルおよびジップコード ケーブル グランド アセンブリ



1. DC 電源ワイヤー
2. ケーブル ボディ
3. ジップコード (デュアル ホール) グロメット
4. グランド ドーム

4. 小型のマイナス ドライバーを使って、DC ポート ハウジングに記されているように、適切な DC 端子台に + (赤) / - (黒) DC ワイヤーを挿入します。図 7 を参照してください。

図 7 端子台への DC ワイヤーの接続



© 2025 CommScope, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
出版 June 2025、部品番号 800-73781-009 Rev A

5. 端子台のネジを締めてワイヤーを固定します。
6. 図 8 に示すように、ケーブル ボディを AP ハウジングに挿入し、7 N.m (62 インチポンド) のトルクで締めます。

図 8 ケーブル ボディの挿入



7. 図 9 に示すように、ジップコード グロメットをケーブル ボディに挿入します。

図 9 ジップコード グロメットの挿入



8. 図 10 に示すように、グロメットが DC ケーブルにしっかりはまるまでケーブル グラント ドームを手で締めます。

注意! RUCKUS では、水がケーブルをつたって電子部品に侵入しないよう、屋外に設置されている機器に接続するケーブルにはドリップ ループを施すことを強くおすすめします。

図 10 ケーブル グランド ドームを締める



9. 「マウント ブラケットへの U-ジョイント ブラケットの取り付け (3 ページ)」に進みます。DC 電源は後でオンにします。

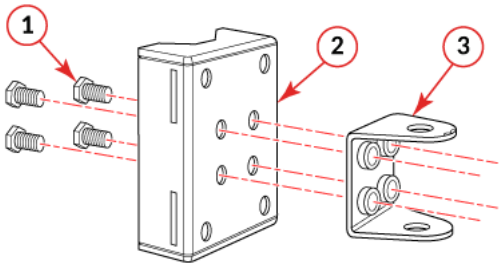
マウント ブラケットへの U-ジョイント ブラケットの取り付け

1. U-ジョイント ブラケットをマウント ブラケットの上にセットします。

注意: U-ジョイント ブラケットはマウント ブラケット上にどの方向に取り付けても構いませんが、AP の方位を調整できるようにしておくことを推奨します。これにより AP ブラケットで AP の高さを調整できます。

© 2025 CommScope, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
出版 June 2025、部品番号 800-73781-009 Rev A

図 11 マウント ブラケットに水平方向に取り付けられた U-ジョイント ブラケット



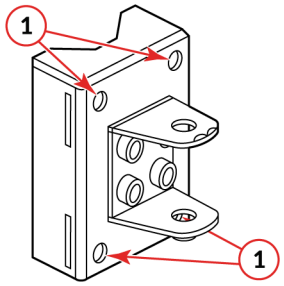
1. ボルト
2. マウント ブラケット
3. U-ジョイント ブラケット

2. 1/4 - 28 ボルト 4 本とワッシャー セット (1) を使用して、U-ジョイント ブラケット (3) をマウント ブラケット (2) に取り付けます。ボルトを 9.5 N.m (84 インチ - ポンド) のトルクで締めます。
3. 取り付け要件に応じて、平らな面へのマウント ブラケットの取り付け (4 ページ) または「ポールへのマウント ブラケットの取り付け (4 ページ)」に進みます。

平らな面へのマウント ブラケットの取り付け

1. AP を取り付ける場所の平らな面にマウント ブラケットをセットします。マウント ブラケットの平らな面の穴 (図 12 の 1) をテンプレートとして使用し、取り付け位置に印を付けます。

図 12 マウント ブラケットの平らな面の穴



1. 平らな面の穴

2. 平らな取り付け面からマウント ブラケットを動かします。
3. マウント金具に必要な穴をドリルで開けます。

注意: 壁へのマウントに必要な金具はマウント部品に含まれていません。

4. お客様にご用意いただく壁用アンカー、平ワッシャー、六角ナットを使用して、マウント ブラケットを平らな面に取り付けます。
5. マウント金具の指示に従って金具を締め、マウント ブラケットを固定します。
6. 「*U-ジョイント ブラケットへのリンク ブラケットの取り付け*」に進みます。

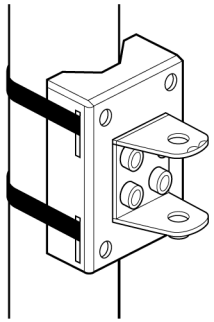
ポールへのマウント ブラケットの取り付け

1. ステンレス製クランプの開放になっている端をマウント ブラケット上部の 2 つのスロットに挿入します。
2. もうひとつのステンレス製クランプをマウント ブラケット下部の 2 つのスロットに挿入します。

注意: 複数のクランプをデイジー チェーンで接続して大きなポールに対応することもできます。

3. クランプを使用してマウント ブラケットをポールに取り付けます。クランプを 3 N.m (27 インチ - ポンド) のトルクで、あるいは製造元の仕様に従って締めます。

図 13 マウント ブラケットの垂直ポールへの取り付け



4. 「U-ジョイント ブラケットへのリンク ブラケットの取り付け (4 ページ)」に進みます。

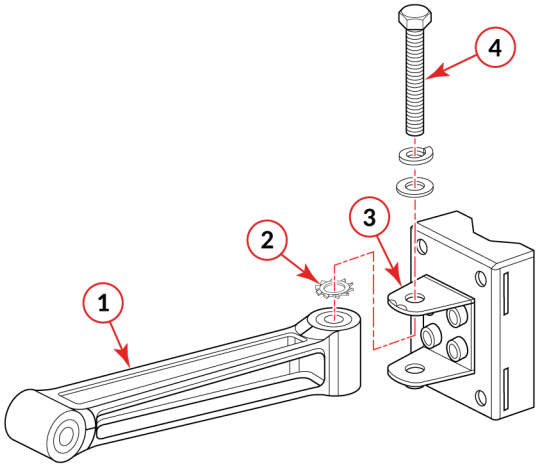
U-ジョイント ブラケットへのリンク ブラケットの取り付け

1. リンク ブラケットは M8 ボルト、ワッシャー、ナットのセットを使用して U-ジョイント ブラケットに取り付けます。リンク ブラケットは左右対称なので、どちらの端を U-ジョイント ブラケットに接続しても構いません。

注意: セレート付き外歯ロック ワッシャーを U-ジョイント ブラケット鍔部の内側に入れてリンク ブラケットを取り付けてください。このように取り付ければ、方位調整に影響しません。

2. 図 14 に示すように、リンク ブラケット (1)、U-ジョイント ブラケット (3)、セレート付き外歯ロック ワッシャー (2) 1 個、および M8 ボルト & ワッシャー (4) 1 セットを緩めに組み立てます。

図 14 リンク ブラケットの U-ジョイント ブラケットへの取り付け



1. リンク ブラケット
2. 外歯ロック ワッシャー
3. U-ジョイント ブラケット
4. M8 ボルトとワッシャーのセット

3. AP に必要な方位を設定します。
4. M8 ボルトを 13.6 N.m (120 インチ - ポンド) のトルクで締めます。
5. 「リンク ブラケットへの AP ブラケットの取り付け (4 ページ)」に進みます。

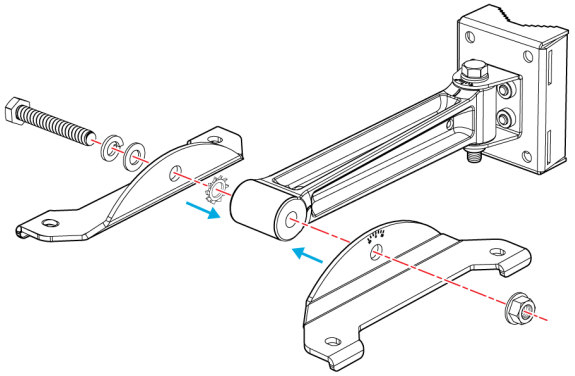
リンク ブラケットへの AP ブラケットの取り付け

1. 図 15 に示すとおり、同梱のボルト、ロック ワッシャー、平ワッシャー、セレート付き外歯ワッシャー、ナットを使用して、AP ブラケットをリンク ブラケットに取り付けます。

   リンク ブラケットは左右対称なので、どちらの端を AP ブラケットに接続しても構いません。
2. AP ブラケットは M8 ボルト、ワッシャー、ナットのセットを使用してリンク ブラケットに取り付けます。

© 2025 CommScope, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
出版 June 2025、部品番号 800-73781-009 Rev A

図 15 リンク ブラケットの AP ブラケットへの取り付け



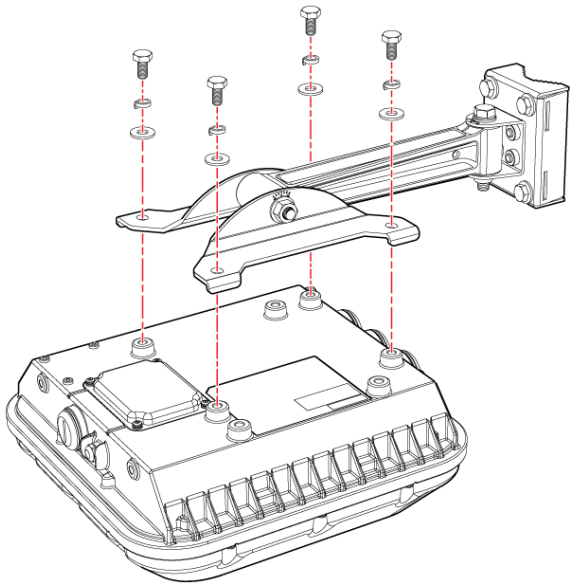
注意: セレート付き外歯ロック ワッシャーを AP ブラケット鍔部の*内側*に入れてリンク ブラケットを取り付けてください。このように取り付ければ、高さ調整に影響しません。

3. 「アクセス ポイントへの AP ブラケットの取り付け (5 ページ)」に進みます。

アクセス ポイントへの AP ブラケットの取り付け

1. AP ブラケットの 4 つの大きなネジ穴が AP のネジ穴と揃うようにブラケットを AP の背面にセットします。

図 16 AP ブラケットの AP への取り付け



2. 0.5 インチ x 0.250-28 六角ボルトとスプリット ロック、平ワッシャーのセットを使用して AP ブラケットを AP に取り付けます。ボルトを 2.5-3.0 N.m (22-27 インチ - ポンド) のトルクで締めます。

注意! 0.5 インチ未満のネジを使用してください。0.5 inch 以上のネジを使用すると、AP シャーシを破損するおそれがあります。

注意: このキットには予備のネジ、ナット、ワッシャーが含まれている場合があります。予備の部品は必要に応じていつでも使用できます。

3. 「高さの設定と高さ調整ボルトの締めつけ (5 ページ)」に進みます。

高さの設定と高さ調整ボルトの締めつけ

1. AP に必要な高さを設定します。
2. M8 ボルトを 13.6 N.m (120 インチ - ポンド) のトルクで締めます。
3. 「AP のアース (5 ページ)」に進みます。

AP のアース

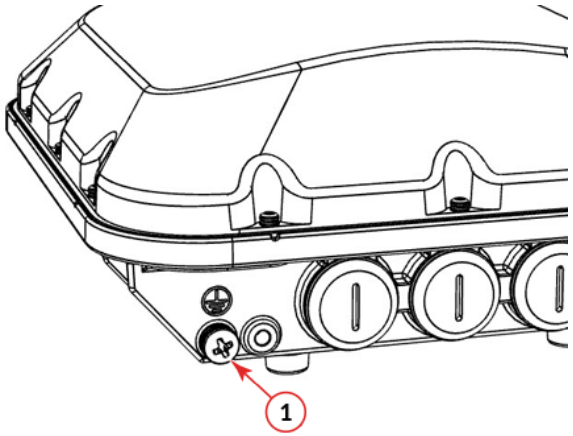
注意! 接地を行い、各地域および国の電気安全基準を満たしていることを確認してください。雷からの保護を強化するために、避雷針および避雷器を使用してください。

注意: アース線の色分けは地域によって異なります。このステップを完了する前に、お住まいの地域の配線規格を参照してください。

1. 工場提供のアース線と接地ネジ/ワッシャーのセットを使用し、適切な接地を AP シャーシの接地点に接続してください。

注意! T670 AP には 9 mm のステンレス製 M6x1 接地ネジ (スプリット ロックと平ワッシャー付き) が含まれています。ネジを交換する場合は、9 mm 以下のものを使用してください。9 mm 以上のネジを使用すると、AP シャーシを破損するおそれがあります。

図 17 適切なアースを AP に接続する



1. 接地ネジ

2. 「AP への DC 電源供給 (6 ページ)」に進みます。

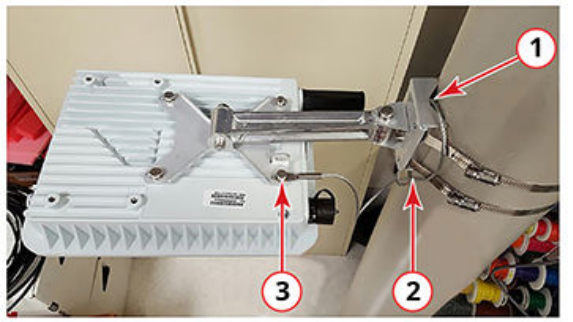
USB ハードウェア キーの取り付け

(IoT 無線デバイス用などの) USB ハードウェア キーを取り付けるには、幅広マイナス ドライバーを使用してブランキング キャップを AP から取り外し、ハードウェア キーを USB ポートに挿入します。

セキュリティ ケーブルの取り付け

1. セキュリティ ケーブルをマウント ブラケット (図 18 の 1) とケーブル自体のループ (図 18 の 2) に通します。
2. AP ブラケットとマウント金具 (平ワッシャー、スプリット ワッシャー、0.5 インチ x 0.250-28 六角ボルト) の間に安全ケーブルの小穴の端を挿入し、安全ケーブルを AP に取り付けます図 18 の 3。
3. ボルトを 2.5-3.0 N.m (22-27 インチ - ポンド) のトルクで締めます。

図 18 セキュリティ ケーブルの取り付け



© 2025 CommScope, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
出版 June 2025、部品番号 800-73781-009 Rev A

AP への DC 電源供給

AP は、PoE (48V) 給電と 48V DC の 2 種類の電源に対応しています。

AP は、クラス 5 デバイスとしてイーサネット入力から電力を引き出すことができ、システムに最大 35W の電力を供給できます。または、お客様がお持ちの、2 ピン端子台接続 48V DC 電源から電力を供給することもできます。端子台には、ユニット片側にある防水グランドから接続できます。端子台接続にはサージおよび極性保護が施してあり、極の間違ったリード線が端子台に挿入できないようになっています。

注意: PoE ポートと DC ポートの両方が使用される場合は、各ポートで別々のケーブル グランドを使用する必要があります。追加のケーブル グランド (部品番号 902-0183-0000) をご購入いただけます。

注意: 48V DC および 48V PoE 電源の両方が有効になっている場合、AP は 48V DC 電源を優先します。

注意! DC 電源が 48V DC を超えないようにしてください。

1. DC 取り付け用ケーブル アセンブリ (2 ページ) での説明にあるように、DC 電源ケーブル アセンブリがしっかりと取り付けられていることを確認します。
2. 電源コードを DC 電源に接続します。
3. AP の LED が黄色で点滅していることを確認してください (WLAN が構成されている場合は緑色になる場合もあります)。

トラブルシューティング

注意! 必要であれば、PoE 入力ポートにあるリセット ボタンを押して、AP を工場出荷時の設定にリセットすることができます。ペン先または 3 mm のマイナス ドライバーでリセット ボタンを押します。

- ソフトリセット: 4 秒未満長押しします。
- 工場リセット: 5 秒以上 15 秒未満長押しします。LED は赤色と緑色に交互に点灯します。
- 工場出荷時既定のリカバリ モード: 15 秒以上長押しします。LED が赤色と黄色に交互に 1 回点灯した後、AP が再起動します。

指示された場合以外は、AP を工場出荷時のデフォルト設定にリセットしないでください。(この操作を行うと、AP の IP アドレスが 192.168.0.1 にリセットされます。)

注意: リセット後、https://192.168.0.1 を使用して AP 内部の ウェブ インターフェイスにアクセスできます。お使いの機器では、192.168.0.2 ~ 192.168.0.254 (サブネット マスク 255.255.255.0) のアドレスを使用する必要があります。ユーザー名は「**super**」、パスワードは「**sp-admin**」です。

注意: 6GHz 無線オプションの使用は中国で許可されていません。

補足

AP の設定・管理方法の詳細については、ネットワークの設定・管理に関する RUCKUS ネットワーク管理プラットフォームのユーザーガイドを参照してください。

製品データ シートについては、https://www.ruckusnetworks.com/products/wireless-access-points/ をご確認ください。

RUCKUS Wireless LLC は CommScope, Inc. の完全所有子会社です。

CommScope および CommScope の口ゴは、米国およびその他の国における CommScope および/またはその関連会社の登録商標です。商標に関するその他の情報については、https://www.commscope.com/trademarks を参照してください。 この文書に記載されているすべての製品名、商標、登録商標は、各所有者の資産です。

© 2025, CommScope, Inc. All rights reserved.

© 2025 CommScope, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
出版 June 2025、部品番号 800-73781-009 Rev A